

◇干潟観察会を開催しました

平成25年11月20日、21日 泡瀬干潟にて比屋根小学校3年生3クラスの生徒たちと一緒に、干潟観察会を開催しました。今回、観察した場所は、沖縄県総合運動公園向かいの干潟（比屋根湿地近く）です。2日に分けたのは、一度に全学年が同一の場所での観察を行ってしまうと、そこに生息する生物などに悪影響を及ぼすことが懸念されるためからです。当日は干潟の自然の詳しい2名の講師をお招きし、観察会を実施しました。1日目は3年3組、2日目は3年1組と3年2組です。当日は、市教育委員会のバス1台と2台のワンボックスタイプの車にて、小学校近くの集合場所と沖縄県総合運動公園の間をピストン輸送し、時間差的な干潟観察会となりました。まず最初に、運動公園の駐車場に集合して、そこで危険生物の説明をしました。駐車場から干潟に行く間には、海岸植物が生育する場所があり、ここでは講師より植物の簡単な説明がありました。沖縄県総合運動公園前の干潟は、礫が多くあるサンゴ礫干潟が目立ち、暖かい季節には特にカニの仲間が多く活動している場所でもあります。しかし、今回は、季節は秋から冬にかけて、ということで、外気温も夏場に比べると低く、活発に活動する生き物は少なかった。子供達は、それでも、必死に生き物を探し、ミナミベニツケガニ（ガサミの仲間）の大型個体を見つけたり、ハシリイワガニ、砂茶碗（タマガイの卵塊）やトビハゼなどを観察しました。観察を終えたら振り返り後、再度車に乗って、小学校方面へ、そこで無事解散となりました。

